

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナーナイト

Vol. **2**
2019.
8月号

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイベックタワー東館1階

TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011

E-mail : ri2770@ri2770.com URL : <http://www.ri2770.com>

ご挨拶



2019～20年度 ガバナー

国際ロータリー第2770地区

ガバナー 小林 操 (越谷北 RC)

ロータリアンの皆さん、こんにちは。年度が替わり、一か月経ちました。各部門セミナーが続き、忙しい毎日、クラブ会長、クラブチームリーダーの皆さんには緊張の連続とご推察申し上げます。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。マローニーRI会長は国際協議会の講演のなかで、強調事項として、ロータリーを成長させること、として、以下の通り説明しています。ここに訳文を掲載させていただきます。

「私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員基盤を成長させることです。

ロータリーの会員増強がよく話題になります。毎年、同じ問題について、少しずつ違う方法で話しています。ロータリーが急成長している地域もありますが、多くの地域では期待する変化が見られていません。昨年、ロータリーでは、誰も望んでいなかった記録が打ち立てられました。それは、ロータリー退会者数の記録です。期待した経験がロータリーで得られなかったから退会した、という人たちがいました。生涯ずっとロータリーを愛しているという人たちもいましたが、彼らは去りました。その能力、経験、リーダーシップと一緒にロータリーを去ったのです。

この課題への答えは、退会者の代わりに新入会者を増やすことではありません。それは、穴だらけのバケツに水を注ぐようなものです。会員減の根本原因、すなわち、会員の不十分な参加や、着実に進む会員の高齢化に取り組む必要があるのです。

根本から変える時が来ていることは明らかです。会員の参加促進と多様化を阻む障害が何であるかは、もうわかっています。この知識を基に、行動を起こす時が来ています。新しい会員モデルをつくり、ロータリー入会への新しい道をひらき、既存のクラブが既存のニーズをかなえていないところで新しいロータリークラブとローターアクトクラブをつくるのです。これは、クラブと会員基盤の成長がなぜそれほど大切なのかをクラブ会長に理解してもらうだけでなく、そのための効果的な構造をクラブが備えられるようにすることを意味します。

奉仕するロータリーと消えゆくロータリー、それを分かちのが会員増強であることを考えると、友人の勧誘を会員に強く勧めるだけのアプローチを用いているクラブがいかに多いかに驚きます。それは、すべてのクラブが一様にならざるを得ない道であったばかりか、成長のない20年間をもたらしました。必要なのは、組織的なアプローチです。個人ではなく地域社会に入念な目を向けることのできる多様な委員から成る会員増強委員会をクラブに設置することです。地域社会にいる人びとのグループ、役職、職業のうち、クラブに会員がいないのはどれか？ 見つける必要があるのは、そういった人たちです。このアプローチは画期的でも何でもなく、ロータリーに古くからあるアイデアの一つにすぎません。つまり、「職業分類制度」と呼ばれるものです。113年間続いてきたものであり、これを再発見し、活用する必要があります。

これに加え、新クラブの結成を通じてロータリーを成長させなければなりません。ロータリークラブがないところだけでなく、ロータリーが既に活発に活動している地域社会においても、新クラブをつくる必要があります。ほかのクラブとは違う例会や奉仕の機会がある新しいモデルのクラブを立ち上げる必要があります。新クラブの結成は、地区ガバナーと地区の明確な責務であることを忘れないでください」

第2770地区では会員増強委員会のもと、各クラブに、増強に目を覚ますよう繰り返し問い掛けてきましたが、残念ながら直前期には純減30余名になってしまいました。今年度、発想を変え、新しい会員モデル、入会への新しい道を開き、ニーズに即したクラブを作り、会員増強をして行きたいと思っています。

国際大会推進委員長として



国際大会推進委員長

浅水 尚伸（越谷南 RC）

ハンブルク国際大会にご参加の皆様、大変お疲れ様でした。長いフライト時間、日の沈まない夜を過ごして、中には、体調を崩した方もいると思います。お陰様で、当地区からは、予想を上回る200名を上回るご参加を頂き、胸をなでおろすことができました。様々な旅程で、ヨーロッパ各地を巡って帰国した方々が多く、クラブ単位で、グループ単位で、あらためて懇親を深められ、得難い多くの経験を共有されたものと思います。

国際大会への参加は、私たちロータリアンに自分が国際ロータリーに所属するクラブの一員であることを再認識させ、地元への奉仕だけではなく、国際社会に何か貢献できないだろうかという思いを目覚めさせてくれます。多様な世界各国からの参加者と会うだけでも、共通の価値観を持った仲間がこんなにも多く存在し、しかも、互いに親近感をもって接してくれる姿に出会うと大きな感動を味わいます。このような体験は、ロータリーの他の機会では味わえないと思います。

小林ガバナーご夫妻と私たち夫婦を含むグループは、ドイツのほか、フィンランド・スウェーデンを巡ってきました。バルト海をクルーズして来たのですが、これらの国々には、文化的にも共通点が多く、食材や食事の味付けはほとんど一緒であり、距離も近いのに、貨幣の種類も言語もそれぞれ異なるのが不思議でした。しかし、考えてみれば、日本と韓国、さらには中国・台湾の関係も、一緒だなと気付きました。いくら共通点が多くても、それぞれの国には、独自の歴史と風土があって、現在の姿を形成していることを忘れてはいけないということをヨーロッパで再認識しました。国際的な友好関係、そして、平和を考えていくためには、お互いの姿を尊重しなければいけないことを思い起こさせてくれました。

もう一つ今回の大会で気付いたのは、アフリカからの参加者が多く、ブースも多かったことです。やはり、ヨーロッパは、歴史的にもアフリカとの関係が深く、地理的にも心情的にも距離も近そうだったということでした。日本のロータリーもアフリカでの国際奉仕活動を少なからず実施してはいますが、今後、ますます、私たち日本のロータリークラブにも様々な要請が来るのではないかと思います。

個人的な感想が多くなってしまいましたが、国際大会参加者の皆様には心から感謝申し上げます。そして、次年度、ハワイへの大会にも多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。ありがとうございました。

各部門委員長 ご挨拶



管理運営部門

管理運営部門委員長

熊木 広光（大宮中央 RC）

管理運営部門委員長 熊木広光です。大宮中央RCからの出向です。どうぞよろしくお願い致します。

地区管理運営部門の役割は、クラブの活性化の為に、クラブの円滑な運営の支援を主な目的とします。また、RLIの運営、ロータリーの貴重な財産である学友の管理を行います。

各クラブが地区運営方針に基づき、目標を実践する為、それぞれのクラブが効果的なクラブ、元気なクラブとなる様、ご支援、お手伝いをさせていただきます。

委員会活動は、クラブ活性化委員会は、クラブ研修リーダーの選任を促進し、クラブ内での会員研修・運営を支援します。今年度は、委員会が担当して新会員のためのRLI方式による研修会を企画致しました。是非、クラブよりご推薦下さい。

また、全てのクラブのロータリー賞へのチャレンジを支援いたします。戦略的優先事項を理解して頂き、クラブの戦略計画の立案・作成を推進します。

My Rotaryやロータリークラブ・セントラルの活用の習慣化を徹底して頂き、クラブの効率化、IT化のメリットを理解して頂く様お手伝いします。

RLI運営・学友管理委員会では、草の根運動として発展してきたRLIの当地区での運営をお手伝いします。次年度も3回の開催を予定しております。クラブの指導者になられる皆様の受講をお待ちしております。

学友管理は、学友の名簿を作成し、厳格な管理のもと、データをクラブや地区委員会の活動に役立てて頂く準備を致します。

ロータリアンの皆様には、「学友は宝」という認識のもと、継続的な学友同士やロータリアンとの繋がりを、維持して頂きたいと思っております。

最後に、各クラブの運営や活動は、RIが示す方向性をよく理解しながら、各クラブの自主的な活動を基盤として行われることです。過去の活動を固定的に考えないで、柔軟に、そして革新的な方法も取り入れて長期的に考えるべきだと強調されています。クラブの活性化には、会員全員参加が何よりも必要なことであり、クラブの現状を常に調査、研究し、クラブ活性化のための方策を継続的に考えていくことが大切になると思います。この先一年間、委員会へのご協力、どうぞよろしくお願い致します。



公共イメージ部門

公共イメージ部門委員長

梶間 順子（浦和中 RC）

今年度公共イメージ部門は小林ガバナーのエンドポリオに向けての熱い思いを形に変えて行きたいと考えています。各クラブの取り組みや学友の活躍などを多くの人たちにアピールしポリオ撲滅の意義と理解を広めるための活動を行います。タスキでつながろう、ロータリーエンドポリオ！と題し世界ポリオデーの10月24日には各クラブに一斉にイベントを開催していただきます。このイベントは地域に変化をもたらす奉仕活動としてロータリーのイメージの向上を図り、さらに入会への関心を高める絶好のチャンスとして会員増強に結びつくクラブの行動力を高め強固な組織づくりに役立てることも目的としています。目的達成のためにポリオプラス委員会と協力し各クラブの活動のサポートをさせていただきます。提供品としてはタスキ、のぼり旗、ポリオの説明パンフレット、ステッカー、イベント用ポスター、募金箱、PR用データ等になります。各クラブに配布させていただきます。第2770地区が総力をあげて行うポリオデーイベントを心に残る感動的なものにいたしましょう!!皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。



会員増強維持部門

会員増強維持部門委員長

熊木 雄太郎（戸田 RC）

今年度会員増強維持委員会は地区内会員の目標達成、そして会員維持のために何をしなければならないか？を念頭にガバナー、地区委員会そして各クラブが一丸となって同じ方向に進んで行きたいと考えております。

小林操ガバナーはクラブと地区の未来のために地区数値目標2770名、そして入会候補者情報を担当者（少なくとも5名の増強委員会）が管理し会員の多様化、女性会員の増強、40歳未満の会員の増強に力を注いでいただきたいと思いますと考えています。そしていまだ2770地区の女性会員増強の現状は厳しく、まず女性会員がいないクラブはなぜ自分のクラブにいないのか？ということを感じてもらい、女性が入会し易い環境を整備して先ず女性会員を1名入会させてください。また現在女性会員が所属しているクラブは、クラブ内でより活躍できる場をつくり、女性ならではのきめ細やかな目線でクラブ活性できるようにしていただきたいと思います。

会員増強に特効薬は無いと言われておりますが何もしない、何も出来ないでは一向に増えません。また数年間現状維持、または減少しているクラブは危機感を持つ必要があります。各会長・幹事をはじめ会員増強委員長が常に増強を口にして意識していかなければ純増はしません。そして増強した会

員をクラブ、また紹介者やその周りのメンバーで歓迎し、入会したばかりの方々を大切に退会防止にも努めてください。良く聞く1名増やしても1名退会では全く意味がありません。苦勞して増強したら同じくらい苦勞して退会を防止してください。私たちは純増を目指さなければなりません。

そのためにまず自分のクラブの目標、中長期の目標、そして1会員1名のリストアップ、訪問促進、必須としてクラブパンフレットの作成、コンテストのノミネートなど丁寧に地道に進めて頂きたいと思います。

最後に次年度は部門委員長を補佐しスムーズな委員会運営に努め1名でも多くの増強に携われればと思います。自分のクラブの未来のために一緒に頑張り楽しみましょう。



職業奉仕部門

職業奉仕部門委員長

黒白 秀之 (大宮南 RC)

職業奉仕という言葉は、ロータリー独自のもので理解しづらい、わからないといった意見が大変多く聞かれます。なぜなら、利潤を追求し自己の利益を目指す自分のため「利己の職業」と世のため、人のために尽くす「利他の奉仕」という言葉がいっしょになっているからです。お互いに矛盾した言葉が一つになっている「職業奉仕」という言葉を、ロータリーでは利己と利他を調和させることができると言っています。その理解に努めてまいります。

本年度、職業奉仕委員会では職業奉仕の事例集を作成したいと考えています。2770地区全クラブ、全会員を対象にクラブ、個人で行っている職業奉仕の事例をご紹介頂きたいと思います。毎年、各クラブの職業奉仕委員長さんはどのような活動をしたらいいか苦勞されているのではないのでしょうか。事例集を作成する事で、他のクラブや個人の奉仕活動を参考にして頂き、クラブ活性化につなげて頂ければ幸いです。

また、会員増強や広報などに利用して頂き、ロータリー以外の方に活動を紹介する良い機会になれば幸いです。皆さんから多くの事例をご紹介くださいますようお願い申し上げます。

職業奉仕事例集募集先

メール info@kotyou.net

メール kurousu@kotyou.net

T E L 048-685-2211

F A X 048-685-2213

H D 090-3219-5729

* ご連絡頂ければひな形のデーターをお送りします。

職業奉仕部門委員長 黒白秀之



社会奉仕部門

社会奉仕部門委員長

大塚 崇行（上尾 RC）

2019～20年度、社会奉仕分門委員長を務めます、上尾ロータリークラブの大塚崇行です。社会奉仕部門には3年間所属しましたがまだまだ理解していないことも多いと思いますので、皆様からのご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

社会奉仕部門委員長を拝命するにあたりロータリーに於いての社会奉仕とはという事を考えました。そして、やはり全てのロータリー活動は社会奉仕から成り立つのではないかと考えました。皆さん誰しもロータリークラブに入会するときには、先ずはご自分の身近な地域で何か良いことをしようと思ひ入会されたことと思います。そしてそこでの奉仕活動を通して奉仕する喜びを感じ、さらに活動を広げた中で世界に目を向け国際奉仕等の幅広い活動へと広がっていきます。そのような思いを共有した仲間を増やしクラブ活性化につながるような活動の一助となるよう努めてまいります。地域社会奉仕では各クラブで行われている多彩な奉仕活動を紹介しクラブ活性化につながる新しい奉仕活動の提案をしてまいります。また、ブライダル委員会では新規登録者を増やし成婚者を出せるよう努めてまいります。皆様のご協力を何卒宜しくお願いいたします。



国際奉仕部門

国際奉仕部門委員長

国武 充（川口南 RC）

2019-20年度国際奉仕部門委員長を拝命いたしました川口南ロータリークラブ所属の国武充です。

今年度のRIテーマは皆さんご承知のように『ロータリーは世界をつなぐ（Rotary Connects the World）』です。そしてさらにRI年次目標の中の『優先事項2：行動する』にこんな一文がございます。『地区財団補助金（DDF）を十分に活用することで、地区補助金、グローバル補助金、ポリオ・プラス、ロータリー平和センターの資金とし、地域社会および海外でのプロジェクトを増やす』

国際奉仕部門では、海外でのプロジェクトを増やす為にも各クラブの皆様が国際奉仕活動に対してのご理解をいただき、より多くのクラブが国際奉仕活動に参加していただけるようなお手伝いをさせていただきます。皆様のクラブが少しでも世界へ目を向け『ロータリーの目的』第4項『奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。』を実践できますよう最善を尽くしてまいりたいと考えておりますので、1年間何卒宜しくお願い申し上げます。



青少年奉仕部門

青少年奉仕部門委員長

三富 俊之（さいたま中央 RC）

今年度青少年奉仕部門委員長を拝命致しました、さいたま中央ロータリークラブ所属の三富俊之です。ロータリアンの皆様には日頃より青少年奉仕事業に御理解、御協力を頂きまして誠にありがとうございます。さて、今年度も青少年奉仕部門では、各事業（インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換）で積極的に活動を行って参りたいと思っております。例年行っている事業もですが、各クラブの事業等でロータリアンと青少年の若者達が、奉仕活動に参加して交流をして頂ければと思います。クラブ会長様、各事業の担当委員長の皆様には、クラブ行事を行う際には是非お声を掛けて下さい。又、インターアクト、青少年交換で抱えているホストファミリーの問題について新たに希望者を広く募りたいと思います。提唱クラブ以外でホストをしてみたい、知り合いにホームステイを希望する御家庭がいらっしゃいましたら是非御登録頂きたいと思います。私と、部門担当委員会で御対応致します。ホストファミリーの受け入れ問題を解消して多くのクラブ様に青少年奉仕事業を行って頂ければと思います。何卒、1年間宜しく御願い致します。



ロータリー財団部門

ロータリー財団部門委員長

三枝 和男（大宮東 RC）

国際ロータリーの最優先事項は“ポリオのない世界”をつくることです。すべてのロータリーの活動にポリオ撲滅を全面にうち出してクラブを活性化しましょう。

1979年にロータリーは他の団体に先駆けてフィリピンの600万人の子供たちにポリオ予防接種を開始し大きな成果をおさめました。1988年にロータリーは世界保健機構、ユニセフ、米国疾病対策センターと共に“世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）”を発足させ、ロータリーのアドボカシー活動（支援よびかけ）等によりポリオの撲滅は99.9%まで来ています。

また、日頃の支払いをロータリーカードで決済することにより利用額に対して一定の割合の額が自動的にポリオ・プラスへ寄贈されます。（財団への寄付、R I 人頭分担金、研修や例会費用等の支払いも可。）

「財団へ寄付するということは、人びとが視力を回復し、ポリオ患者が歩けるようになり、子どもたちが健やかに成長し、学生が教育を受け、家族が十分な食べ物を得られるよう支援することです。」

Doing good in the world 世界で良い事をしよう！



米山記念奨学部門

米山記念奨学部門委員長

宗像 英明（大宮南 RC）

地区米山記念奨学部門は、多地区合同奉仕活動である米山記念奨学事業を地区内で推進していく役目を担った委員会です。米山寄付の増進を図ること、奨学生を募集する指定校を選定したり奨学生を選考したりすることが主な事業内容となっています。

米山記念奨学事業の目的は、将来、日本と世界との「懸け橋」となり、ロータリー活動のよき理解者となる人物を育成し、国際親善と世界平和に貢献することにあります。

世話クラブ制度は、奨学生がクラブの例会や奉仕活動に参加してロータリアンとの交流を深める中でロータリーが求める平和の精神や奉仕の精神を培ってもらうためにあり、カウンセラー制度は、奨学生の日常の相談役となって奨学生の成長を手助けするためにあります。日本と母国の「懸け橋」となって活躍する米山学友には、カウンセラーの人格や精神から強い影響を受け、日本を愛しロータリーを愛するようになった方が多いのです。米山記念奨学事業の目的である「懸け橋」となるべき人材育成は、各クラブのロータリアン一人一人のご理解が得られなければ、実現することはできません。米山寄付についても各クラブ、クラブのロータリアンのご理解をいただけて初めて増進につながると実感します。

今年度の米山記念奨学部門は、各クラブのロータリアンに米山記念奨学制度を理解していただくため、地区委員会としてどのようなサービス提供ができるかを考え、制度の理解に必要な情報の提供を柱として活動してまいります。



ロータリーの友

ロータリーの友地区代表委員長

中里 静博（越谷 RC）

「ロータリーの友」はR Iの認可を受け、日本でのロータリーの機関紙であり情報誌でもある公式地域雑誌です。

その「ロータリーの友」は1952年の第60回地区大会において日本は2地区に分割されることになり、この2地区で情報を共有し地区同士の絆を深める目的で、共通の雑誌を発行することが決められました。

1972年に左から開くと横書き、右から開くと縦書きになり、ロータリアンがロータリーライフを充実したものにするために、横書きでR I関連の最新の記事や情報、特集記事等で構成され世界のロータリーの情報が満載されています。

そして縦書きでは日本の34地区や各クラブの身近な話題や活動内容が紹介されており大変有意義な情報源となっています。情報の交換やロータリー精神の意識の向上、各地区や各クラブの発展、奉仕事業の充実に寄与しています。

ロータリーの友地区代表委員はガバナーに任命された「ロータリーの友委員会」の構成員でありガバナーの代理者です。ガバナーの意向を踏まえた建設的な提言を行い、友誌を読んでレポートを書き提出することによって編集部を評価したり提案をすることが任務となっております。

ロータリアンの三大義務は会費の納入、例会の出席、そしてロータリーの友の購読です。買って読むことが義務なのです。読んでご活用いただき、その事業を投稿してください。

記事を投稿することによってクラブ内での話題作りや会員皆さんでの話し合い、読むきっかけ作りにもなることと思います。またクラブ活性化の一助にもなるのではないのでしょうか。多くの皆さんの投稿をお待ちいたしておりますので1年間よろしくお願いいたします。

文庫通信 (377号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

7月はロータリーの新年度です。昨年入会された方々はそれぞれの地区／クラブで「研修」の名の下にロータリーの知識を学び、徐々にロータリーに溶け込んでいることと思います。ロータリーとは何か、ロータリアンとは何か、いろいろな疑問を抱き始める頃です。身近な先輩諸兄の話聞くことも必要です。ロータリー文庫には先達の残した随筆や小論があります。新会員の方に是非とも読んでいただきたいものを選んでみました。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前 10 時～午後 5 時
休館=土・日・祝祭日

新会員にお勧めする書籍

書 名	著者 / 出版社	発行年	頁
多種多様の中の調和と個人の確立	佐々木統一郎 -	1971	11P
新人のためのロータリー情報－クラブ奉仕－出席と親睦と奉仕との相関	佐々木統一郎 -	-	7P
あなたにとってロータリーとは何か 改訂版	菅野多利雄 -	2012	23P
あなたは何故ロータリアンなのですか?	中山義之 D.2770	2008	19P
〈対談集〉いまロータリーが忘れてのこと	森三郎・渡辺好政 D.2700	〔1999〕	14P
私のロータリー観 －アイ・サーブとウイ・サーブ－	増田房二 京都東R. C.	1987	17P

* 資料の検索は文庫ホームページから <https://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫 HP での、「ロータリー文庫検索」の検索方法を改善しました。

キーワードでの検索方法が充実し、下記のように「書籍・冊子等」／「記事」／「PDF」の3つに絞って、資料が探しやすくなりました。ぜひご活用ください。

<キーワード検索>

◆絞り込み検索
☐ 書籍・冊子等を探す ☐ 記事を探す ☐ PDFを探す(複数選択可)



地区副幹事

須賀 篤史（越谷北 RC）

ガバナーナイト報告

2019年6月1日、ハンブルク国際大会開会式の前夜、ハンブルク市内にあるホテルハーフェンハンブルクの最上階にて2770地区ガバナーナイトが行われました。

港町ハンブルクを一望できる素晴らしい会場でした。

当初、2770地区では200人でハンブルクへ行こうという目標を掲げていましたが、はるかに上回る230人の登録があり、多くのロータリアンが遠いハンブルクまで駆けつけていただきました。

今回は我が越谷北クラブが念願のガバナー輩出クラブとして、このガバナーナイトの準備を進めてまいりました。

開会にあたりハンブルク国際大会推進委員長の浅水尚伸PGの開会挨拶に始まり、元RI理事・R財団管理員 北清治PGからご挨拶をいただきました。

そして小林ガバナーエレクトから中川ガバナーへ、宮崎次年度地区幹事から飯野地区幹事へ記念品それぞれ記念品の贈呈、およびお礼の挨拶が行われました。

次年度地区研修リーダーの渡邊和良PGの乾杯のご発声で懇親会となりました。

懇親会中には中川ガバナーの可愛いお孫さんからピアノの演奏もあり大変盛り上がり最高な夜となりました。ご参加いただきました皆様、心より御礼申し上げます。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

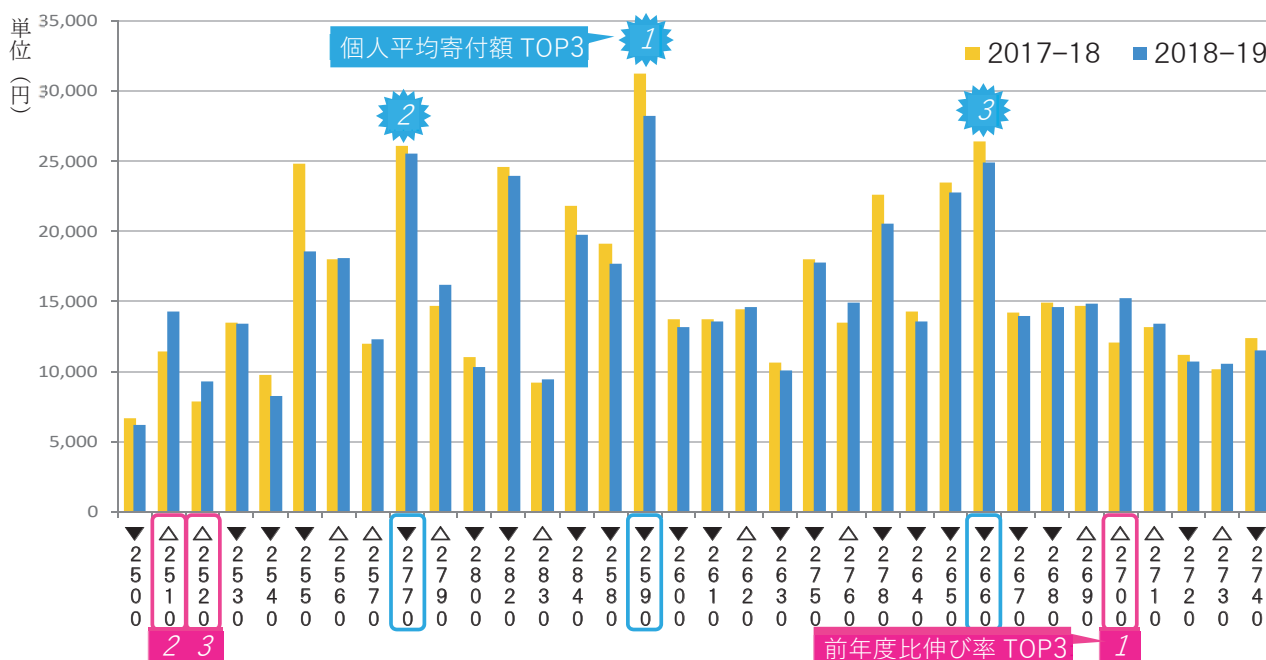
Vol.232

2019年7月12日
発行

1. 2018-19 年度寄付金結果 ―予算達成 14 億円超―

2018-19 年度の寄付金は約 14 億 1,150 万円でした。前年度と比べて 1.6% 減（普通寄付金:0.6% 増、特別寄付金:2.5% 減）約 2,220 万円の減少となりました。当財団設立 50 周年を迎え多くのご寄付をいただいた前年度から大きく減少することなく、予算額 13 億 5 千万円を無事達成することができました。ご寄付をいただきましたロータリアン皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。

2019-20 年度も引き続きご協力賜りますようお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 全国平均: 15,828 円

① 第 2590 地区: 28,210 円 ② 第 2770 地区: 25,553 円 ③ 第 2660 地区: 24,898 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2700 地区: 125.8% ② 第 2510 地区: 124.5% ③ 第 2520 地区: 118.6%

2. スリランカ学友会が総会を開催

爆破事件により延期されていたスリランカ米山学友会の総会が 6 月 4 日に開催され、8 人が参加しました。創立時から会長を務め、昨年 8 月に急逝したラクナース・ガマゲさん（1993-95/宇部西 RC）のために黙祷を捧げたあと、予算や年次報告書の承認、新役員の選任が行われました。新会長はサマラシンハ、ニシャンタ・ロハンさん（2002-05/飯塚 RC）、副会長はジ

ヤヤコディ、ニーラカンティ・サマンサさん（1987-88/神戸ハーバー RC）と、バナゲ・テェンナ・ゲダラ・サマンタ・クマラさん（2013-15/会津若松西 RC）、ほか幹事・会計など 8 人の役員が決定しました。同学友会では今後、ラクナース前会長の一周忌に合わせて無料医療キャンプを実施したいと計画を練っています。